

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

テリパラチド週 1 回製剤、週 2 回製剤における対症療法薬の有無による有害事象発現状況

2. 研究責任者(当院)

所属：薬剤科

氏名：鈴木 諒

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：

代表名：

3. 分担研究者

所属：薬剤科¹⁾

氏名：富田歩子¹⁾

4. 研究対象者

2019 年 12 月から 2024 年 2 月までに当院で新規にテリパラチド週 1 回製剤または週 2 回製剤が処方され、1 回以上副作用などに関する経過観察が可能であった患者

5. 研究の必要性

テリパラチド週 1 回製剤は TWICE 試験の結果よりテリパラチド週 2 回製剤と比較して有意に有害事象の発現が多かったとされている。そのため実臨床では、テリパラチド週 2 回製剤が多く使用されているが、制吐剤や鎮痛薬併用により副作用の多くは対処可能と考えられる。当院では元来テリパラチド週 1 回製剤使用日には制吐剤を 1 日内服していただいている。当院にて有害事象の発現率の差を調べることで、必要な患者には有害事象をあまり気にせず、テリパラチド週 1 回製剤を提案できると考え、今回の研究を発案した。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

個人が特定されない情報で研究を行うため、個人に対する影響はないと考えている。テリパラチド週 1 回製剤は病院で行なう製剤であり、週 2 回製剤は自己注射製剤である。有害事象を気にする必要性がなければ、患者のニーズに合わせて使用する製剤の選択が可能となるため、患者に有用であると考え。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：4161

担当者氏名：鈴木 諒

対応時間：平日 8:30-17:00